



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部長 (氏名)四十万 尚 (TEL) 076-274-1410
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 13,457 | 15.3 | 896 | 146.5 | 910 | 163.8 | 610 | 71.6 |
| 29年3月期第3四半期 | 11,670 | △11.8 | 363 | △63.4 | 345 | △67.5 | 355 | △50.2 |

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 691百万円(—%) 29年3月期第3四半期 4百万円(△99.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 56.00 | 55.64 |
| 29年3月期第3四半期 | 32.38 | — |

(注) 平成30年3月期第3四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 20,842 | 12,685 | 60.7 |
| 29年3月期 | 19,961 | 12,355 | 61.8 |

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,656百万円 29年3月期 12,337百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 7.00 | — | 13.00 | 20.00 |
| 30年3月期 | — | 7.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 13.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,157 | 18.7 | 1,386 | 47.8 | 1,447 | 59.7 | 976 | 33.8 | 88.89 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期3Q | 11,020,000株 | 29年3月期 | 11,020,000株 |
| 30年3月期3Q | 186,744株 | 29年3月期 | 28,701株 |
| 30年3月期3Q | 10,903,049株 | 29年3月期3Q | 10,991,347株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しがみられ、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの主力分野である工作機械業界においては、平成29年12月の業界受注総額が単月として初めて1,600億円を超え、過去最高の1,659億円に達するなど、国内外の需要は依然として旺盛であり、当第3四半期連結累計期間の業界受注総額は前年同期に比べ38.2%の増加となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は134億57百万円と、前年同期に比べ17億87百万円(15.3%増)の増収となり、営業利益は8億96百万円(前年同期比146.5%増)、経常利益は9億10百万円(同163.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億10百万円(同71.6%増)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

工作機械事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は120億21百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は8億68百万円(同129.5%増)となりました。

地域別の売上高については、内需及びアジア向けが好調だったものの、北米及び欧州向けが不調で、内需は85億77百万円(同27.6%増)、外需は34億44百万円(同6.2%減)、外需比率は28.6%(前年同期は35.3%)となりました。

工作機械受注高については、内需・外需ともに好調だったことにより、147億64百万円(前年同期比40.8%増)となり、工作機械受注残高は110億40百万円(同74.2%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における主な取り組みとして、国内外の展示会でのプロモーションを通じた受注獲得に努め、平成29年4月に中国で開催されたCIMT2017、5月に石川県で開催されたMEX金沢、9月にドイツで開催されたEMO2017等に出展し、2スピンドル旋盤「XW-60」などの展示を行いました。また、海外の連結子会社においてプライベートショーを実施しました。

製品面では、ツイントレット合わせて8本の回転工具を装着可能で、多彩な複合加工により効率的な工程集約が可能な「XTT-500M」、及び「GSL-10」をモデルチェンジし、コストパフォーマンスを重視しつつ中空チャッキングシリンダの搭載等により使いやすさを向上させた「GSL-10H」を新たに発表しました。また、日刊工業新聞社主催の第47回機械工業デザイン賞において、スカイビング加工専用機「SKV-8」が機能とデザインの両面で評価され審査委員会特別賞を受賞しました。

② IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は8億82百万円(前年同期比67.8%増)、営業利益は65百万円(前年同期は1百万円の営業損失)となりました。

当第3四半期連結会計期間も引き続き半導体関連及びその他の製造請負案件の売上高が伸長したことにより、四半期会計期間としては過去最高の水準に達しました。売上高の増加に伴い営業利益も増加し、前年同期に比べ大幅な改善となりました。

③ 自動車部品加工事業

自動車部品加工事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は5億53百万円(前年同期比26.4%減)、営業損失は34百万円(前年同期は13百万円の営業損失)となりました。

当第3四半期連結累計期間を通じて大手顧客の生産計画の下振れの影響が生じており、売上高が低調に推移した結果、前年同期に比べ営業損失が拡大しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は208億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて、8億81百万円増加しました。

その主な要因としましては、受取手形及び売掛金が12億19百万円減少したものの、たな卸資産が10億83百万円、電子記録債権が9億35百万円、流動資産のその他(前渡金等)が1億44百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は81億57百万円となり、前連結会計年度末に比べて、5億52百万円増加しました。

その主な要因としましては、未払法人税等が2億14百万円、長期借入金が98百万円、賞与引当金が95百万円減少したものの、電子記録債務が3億86百万円、支払手形及び買掛金が3億17百万円、流動負債のその他(前受金等)が3億1百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は126億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3億29百万円増加しました。

その主な要因としましては、自己株式が1億52百万円増加(純資産は減少)したものの、利益剰余金が3億91百万円、その他有価証券評価差額金が64百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は60.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,957 | 3,010 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,634 | 3,414 |
| 電子記録債権 | 2,978 | 3,913 |
| 商品及び製品 | 728 | 1,005 |
| 仕掛品 | 1,047 | 1,678 |
| 原材料及び貯蔵品 | 978 | 1,152 |
| その他 | 593 | 737 |
| 貸倒引当金 | △15 | △9 |
| 流動資産合計 | 13,902 | 14,905 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,400 | 1,349 |
| 土地 | 2,262 | 2,262 |
| その他(純額) | 1,133 | 1,011 |
| 有形固定資産合計 | 4,796 | 4,623 |
| 無形固定資産 | 66 | 36 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,230 | 1,312 |
| 貸倒引当金 | △34 | △34 |
| 投資その他の資産合計 | 1,196 | 1,277 |
| 固定資産合計 | 6,058 | 5,937 |
| 資産合計 | 19,961 | 20,842 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,833 | 2,151 |
| 電子記録債務 | 2,451 | 2,838 |
| 短期借入金 | 858 | 793 |
| 未払法人税等 | 289 | 74 |
| 賞与引当金 | 181 | 86 |
| 役員賞与引当金 | 40 | 30 |
| 製品保証引当金 | 59 | 69 |
| その他 | 549 | 850 |
| 流動負債合計 | 6,264 | 6,894 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 293 | 194 |
| 退職給付に係る負債 | 623 | 618 |
| 長期未払金 | 387 | 387 |
| その他 | 37 | 62 |
| 固定負債合計 | 1,340 | 1,263 |
| 負債合計 | 7,605 | 8,157 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,835 | 1,835 |
| 資本剰余金 | 1,818 | 1,814 |
| 利益剰余金 | 8,450 | 8,842 |
| 自己株式 | △11 | △164 |
| 株主資本合計 | 12,092 | 12,328 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 72 | 137 |
| 為替換算調整勘定 | 238 | 255 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △66 | △64 |
| その他の包括利益累計額合計 | 244 | 328 |
| 新株予約権 | 4 | 13 |
| 非支配株主持分 | 14 | 15 |
| 純資産合計 | 12,355 | 12,685 |
| 負債純資産合計 | 19,961 | 20,842 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 11,670 | 13,457 |
| 売上原価 | 8,876 | 9,966 |
| 売上総利益 | 2,793 | 3,491 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,429 | 2,594 |
| 営業利益 | 363 | 896 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 2 |
| 受取配当金 | 11 | 8 |
| 再生物売却収入 | 9 | 12 |
| その他 | 29 | 24 |
| 営業外収益合計 | 52 | 48 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7 | 4 |
| 持分法による投資損失 | 63 | 19 |
| 為替差損 | — | 8 |
| その他 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 70 | 34 |
| 経常利益 | 345 | 910 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | — |
| 投資有価証券売却益 | 169 | 0 |
| 特別利益合計 | 170 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 515 | 909 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 96 | 254 |
| 法人税等調整額 | 68 | 48 |
| 法人税等合計 | 164 | 302 |
| 四半期純利益 | 350 | 607 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △4 | △3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 355 | 610 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 350 | 607 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △70 | 64 |
| 為替換算調整勘定 | △164 | 11 |
| 退職給付に係る調整額 | 5 | 1 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △116 | 5 |
| その他の包括利益合計 | △346 | 84 |
| 四半期包括利益 | 4 | 691 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 12 | 694 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △7 | △2 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。